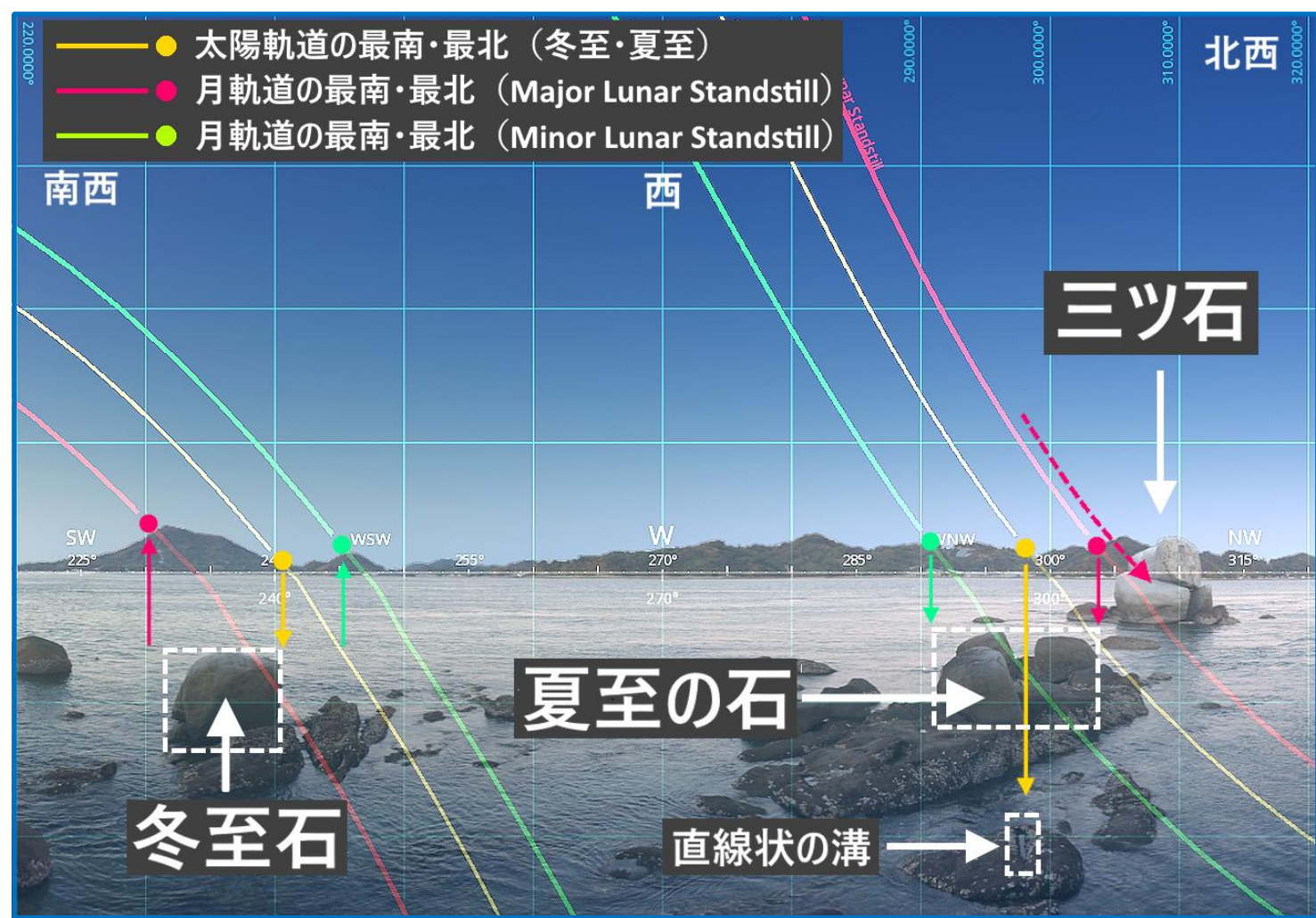


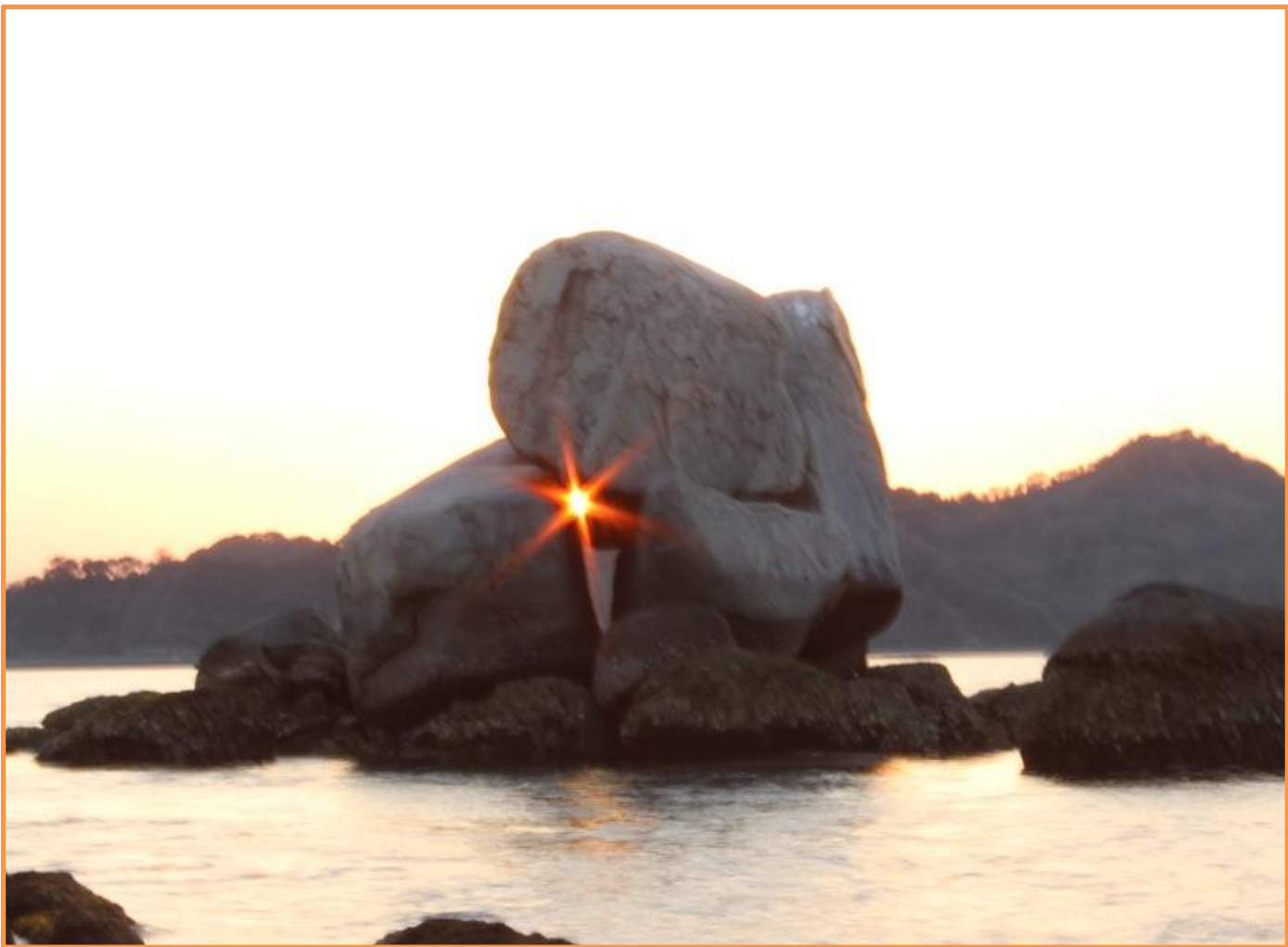
2026松山・白石の鼻巨石群シンポジウム

「白石の鼻巨石群の魅力を探る！」
～地域の魅力をどう育て活かしていくか！～

第一部 シンポジウム



白石の鼻巨石群と月の軌道



白石の鼻巨石群の三ツ石

基調講演

ヨアヒム ピーター ヨンケーレ

「白石の鼻巨石群の最新研究成果:太陽、月と不思議な数字」

日本天文考古学会理事、白石の鼻巨石群振興会客員研究員

白石の鼻巨石群と天体との関係をより深く理解するため、2023年より調査を続けてきました。本講演では、これまでの調査で得られた最新の研究成果を紹介します。

古代の人々は、白石の鼻巨石群で太陽や月をどの位置から観測していたのでしょうか。なぜここに、このように天文巨石を配置したのでしょうか。また、白石の鼻巨石群と、対岸の興居島にあるカサネ石と磐神社巨石群には、どのような関係があるのでしょうか。

松山市民や観光客、天文考古学者に親しまれてきた「三ツ石」や「亀石」のさらなる研究から、2026年の調査で得られた最新の成果まで、白石の鼻巨石群をめぐるさまざまな研究成果を話します。本講演が、松山市に残る古代日本の文化を新たな視点から捉える機会となれば幸いです。

パネルディスカッション

「白石の鼻の魅力をどう育て活用していくか？」

4名程度の有識者および参加者によるディスカッション

期日:9月19日(土)13:00(12:30開場)～16:30

会場:松山市三津浜支所中会議室(募集:50人)

(愛媛県松山市三津3丁目2-30)

入場料:1,000円/1人 高校生以下無料

(定員になり次第、締め切ります。)

第二部 夕日の観賞会

●夕日の観賞会 17:10～18:00 (無料)

会場:高浜6丁目 白石の鼻海岸

①三ツ石に沈む秋分前の夕日を観賞！

②紙芝居「お日さまの子(春秋編)」を上演

※第二部は雨天の場合は中止する場合があります。

※白石の鼻海岸への移動・交通手段は自己解決をお願いします。

※現地にはトイレがありませんので、先に済ませておいてください。

研究発表

篠澤邦彦

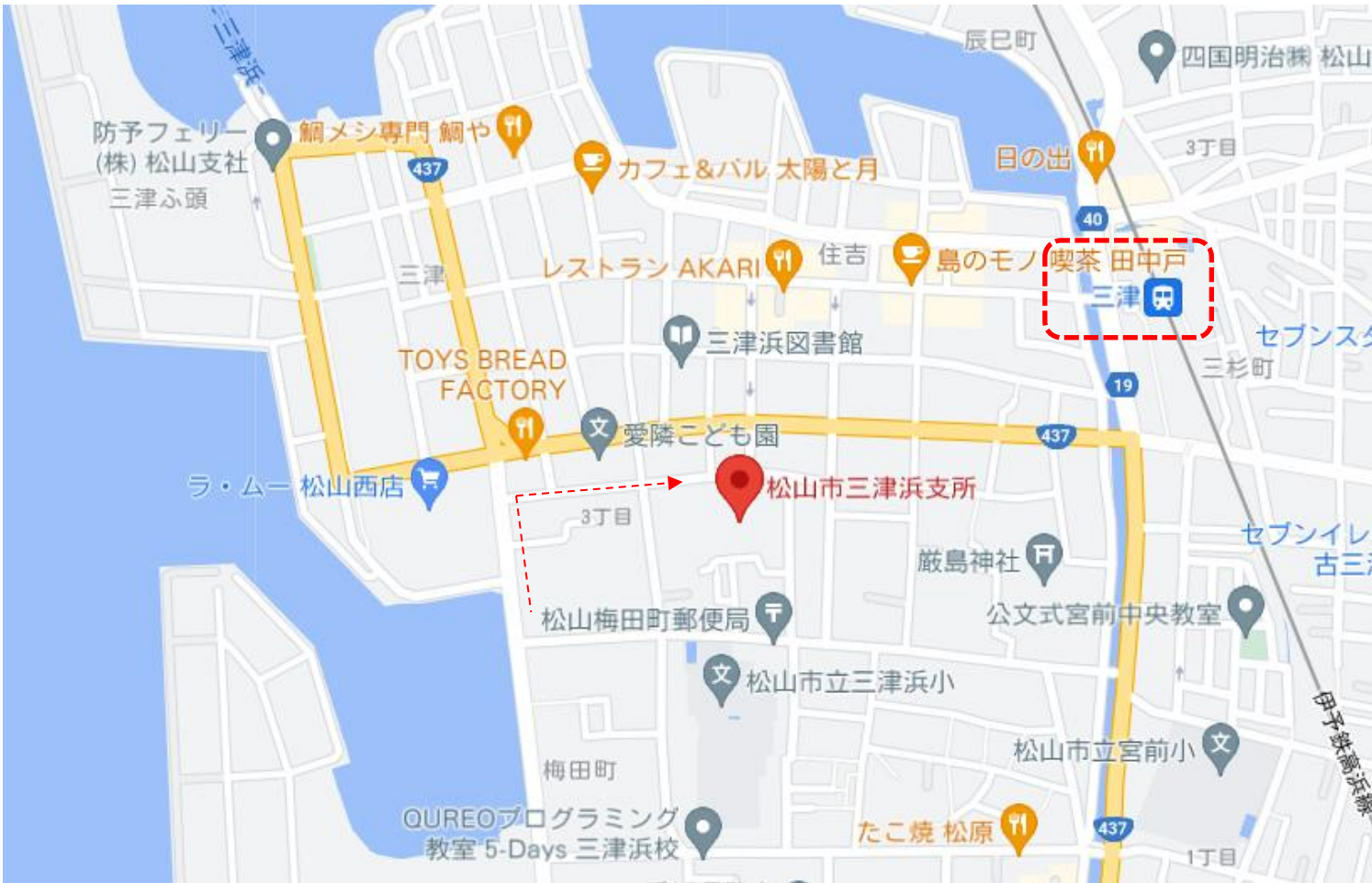
「石舞台古代天文台説と天文考古遺跡の地域活性化への活用」

松山・白石の鼻巨石群振興会事務局長、古代巨石文明研究家

18年に及ぶ白石の鼻巨石群の研究成果を活用して日本でもっとも著名な巨石構造物である石舞台遺跡の謎を解明しました。

石舞台は本当に古墳なのでしょうか？何故、盛土がないのでしょうか？石舞台が示す太陽との関連性について白石の鼻巨石群や世界の太陽祭祀施設と比較しながら読み解きます。

そして、それらを地域活性化にどう活かして行くのか？



●交通アクセス

○鉄道

・伊予鉄高浜線 三津駅下車、徒歩10分

(伊予鉄松山市駅～三津駅まで14分)

○車

・松山ICから高浜観光港方面へ行き県道19号線沿い(約45分)

●問い合わせ先

TEL: 050-3580-3696 事務局

Eメール: shiraishinohana.labo@gmail.com

ホームページ: <https://haku1414.com/>

主催:松山・白石の鼻巨石群振興会(代表:仲矢文和)

後援:日本天文考古学会

白石の鼻シンポジウム 9月19日(土)

12:45 第一部 受付開始
(松山市三津浜支所中会議室)

13:15 開会挨拶

13:20 来賓挨拶

13:25 【基調講演】(60分)
ピーター(50分)+質疑10分
「白石の鼻巨石群の最新研究成果:太陽、月と不思議な数字」

休憩10分

14:35【研究発表】(50分)
篠澤邦彦(45分)+質疑5分
「白石の鼻巨石群の最新調査報告と地域活性化への取り組み」

休憩5分

15:30 【パネルディスカッション】(40分)
「白石の鼻の魅力をどう育て活用していくか？」
4名程度(シークレット)

16:10 閉会
片付け

16:20
白石の鼻海岸へ移動

※各自移動は自己解決でお願いします。
※現地・白石の鼻にはトイレがありませんので、
支所あるいは松山観光港で済ませておいてください。

17:10 第二部 開始

夕日の観賞会(白石の鼻海岸)

- ①紙芝居(お日さまの子)上演
- ②現地説明及び夕日の観賞

18:00 解散



・ヨアヒム ピーター ヨンケーレ



日本天文考古学会理事、
松山・白石の鼻巨石群振興会客員研究員、翻訳家

2000年、ベルギー・ゲント大学文学部にて修士号を取得。
2004年来日、東京都在住。医学・医療技術分野の翻訳家。
2023年、白石の鼻とカサネ石の見学イベントをきっかけに、
巨石群の不思議さに惹かれ、同地における天体観測機能を持つ
巨石について研究を開始。

2023年、2024年、2025年に日本天文考古学会誌「J-AASJ」
に研究論文を発表。2024年10月に日本天文考古学会の研究
発表会、2025年9月に白石の鼻巨石群シンポジウムにて調査レ
ポートを報告。

・篠澤邦彦

松山・白石の鼻巨石群振興会事務局長

H20.1 月に偶然、通りかかった瞬間に「白石の鼻」の巨石がオー
パーツであると直感。その後、集中的に調査・研究し、二至二分の
夕日のラインと巨石群が整列することを実証。
H20.9 月イワクラサミット(神戸)、H25.10月イワクラサミット(近江八
幡)にて研究レポートを報告。現在、「白石の鼻」巨石文化の可能
性について調査研究・情報発信・普及に努めている。郷土史研究
家、日本天文考古学会常務理事、フリーランスエンジニア、著書に
『伊予のストーンヘンジ』がある。

●問い合わせ先 登録NPO松山・白石の鼻巨石群振興会事務局

TEL: 050-3580-3696

Eメール: shiraishinohana.labo@gmail.com

ホームページ: <https://haku1414.com/>